

株主メモ

Stockholder Memo

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月に開催

基準日

定時株主総会 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒541-8502

(連絡先) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL (通話料無料) 0120 (094) 777

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページ <https://www.kfc-net.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部

単元株式数 100株

単元未満株式の買取請求受付場所 証券会社等ご利用の株主様はお取引の証券会社等へお申し出ください。
証券会社等ご利用でない株主様は左記特別口座管理機関にお申し出ください。

ホームページのご案内

Website



<https://www.kfc-net.co.jp/>

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも是非アクセスしてください。

株式会社 ケー・エフ・シー

KFC REPORT

時代のニーズに対応する、先進の技術を追い求めて

第57期年次報告書

2020年4月1日～2021年3月31日



株式会社 ケー・エフ・シー

証券コード：3420

株主の皆様には、 平素より格別のご高配を賜り、 厚く御礼申し上げます。

当社は2021年3月31日をもって第57期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の事業年度を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の内容についてご報告申し上げます。



代表取締役社長 **高田 俊太**

企業理念

- 一. 私たちは信用を重んじ、社会の発展と豊かな環境づくりに貢献します。
- 一. 私たちは時代のニーズに対応し、常に変貌する企業を目指します。
- 一. 私たちは社員相互の信頼のもと、人材を育成し、希望に満ちた企業を創造します。
- 一. 私たちは常に学ぶ姿勢を持ち、自己と企業の進歩、改善を目指します。

第57期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により、急速な悪化を余儀なくされました。その後の段階的な経済活動の再開とともに持ち直しの動きがみられましたが、大都市圏を中心に緊急事態宣言が再発出されたことなどにより、未だ本格的な回復には至っておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する建設業界におきましては、輸入の停滞による建設資材の不足や価格高騰、慢性的な人手不足などの問題に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により民間の建設投資が大幅に減少するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、公共事業を中心とした政府建設投資の需要に確実に応えるため、需要先のニーズを的確に捉えた技術提案型営業を推進し、商品の拡販と建設工事の受注に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、277億98百万円(前期比2.3%減)で、その内訳は、商品売上高が102億93百万円(前期比9.7%減)、完成工事高は175億4百万円(前期比2.6%増)となりました。

収益面につきましては、売上高は減少したものの、前期に引き続き原価低減の取り組みを行ったことなどにより、連結経常利益は33億95百万円(前期比11.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は23億6百万円(前期比9.7%増)となりました。

今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による国内外の経済への影響は計り知れず、先行きは不透明な状況であります。

一方、建設業界におきましては、リニア新幹線などの大型プロジェクト、インフラ補修など建設需要拡大の動きが継続することが見込まれ、堅調な受注環境が続くものと考えられます。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響は建設業界においても見通すことができず、さらに少子高齢化に伴う人材不足、若年労働者の確保や働き方改革による労働環境の多様化など多くの課題を抱えている状況にあり、事業環境をめぐる見通しは例年以上に不透明となっております。

このような状況のなか、2022年3月期は「ケー・エフ・シーグループ中期経営計画(2021~2023年度)」の初年度にあたり、「収益力の向上」「技術・開発力の強化」「働き方改革」「経営基盤の再構築」を基本戦略として重点的に取り組み、いかなる市場環境においても影響を受けない真の企業力を築いてまいります。

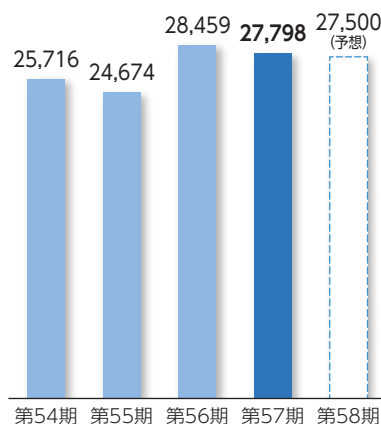
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

決算ハイライト

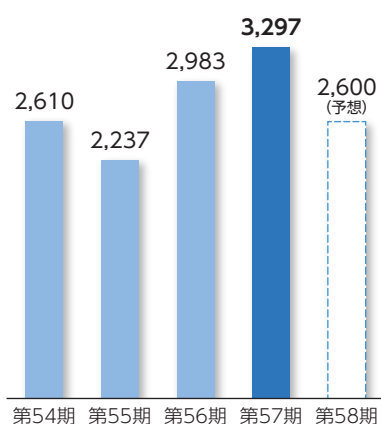
Financial Highlights

売上高は減少したものの、前期に引き続き行った原価低減の取り組みにより、減収増益となりました。

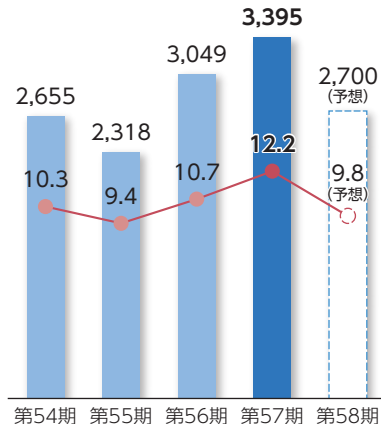
売上高 (単位: 百万円)



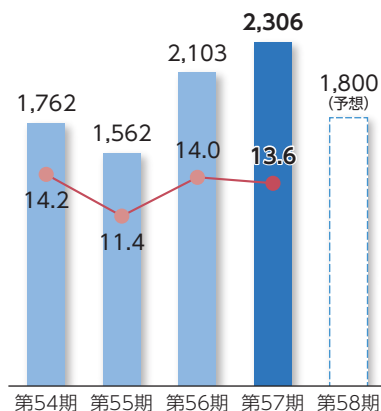
営業利益 (単位: 百万円)



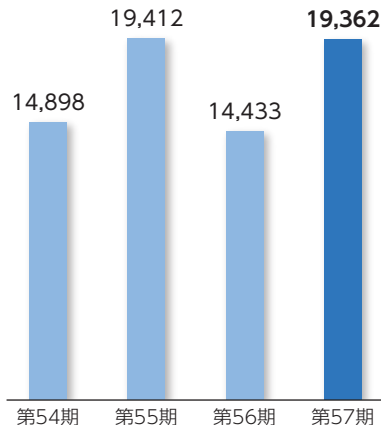
経常利益 (単位: 百万円) / 経常利益率 (単位: %)



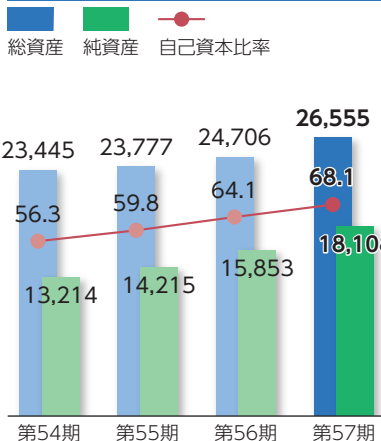
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円) / ROE (単位: %)



受注工事高 (単位: 百万円)



総資産 / 純資産 (単位: 百万円) / 自己資本比率 (単位: %)



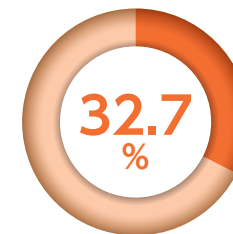
事業部門別概況

ファスナー事業



売上高 **90億71百万円** 前期比 **5.6%減**

付加価値の高い「金属系あと施工アンカー」をはじめとする建設資材販売は順調に推移いたしました。民間を主体とする建築耐震工事の延期や、土木耐震工事の発注の遅れから完成工事高は減少しました。

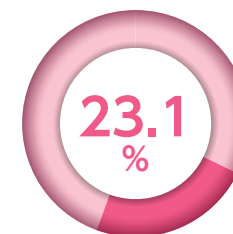


土木資材事業



売上高 **64億41百万円** 前期比 **16.1%減**

西日本地域においては主要商品であるロックボルトの販売は前期と同水準で推移いたしました。東日本地域ではプロジェクトの終了や着工の遅れなどの影響で販売数量が減少し、またトンネル補修工事も発注の遅れが発生いたしました。

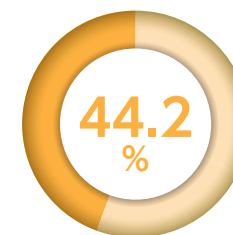


建設事業



売上高 **122億85百万円** 前期比 **10.0%増**

当社の得意とする環境対策工事において大型元請物件が一部竣工したほか、トンネル補修・補強工事や橋梁補修工事で大型物件を受注いたしました。建設資材販売においては、新東名高速道路の設備工事に付随した「フェイルセーフシステム (取付物落下防止対策商品)」の売上が堅調に推移しました。



■ 中長期経営戦略

Strategy

いかなる市場環境においても影響されない真の企業力を目指して

～ 業界に先駆けて高付加価値の製品・工法を開発し、持続的成長を可能にする企業グループへ ～

高度な社会インフラ整備の実現に向け、常に「オンリーワン」技術にチャレンジし、豊かな社会資本・インフラ整備に貢献する専門家集団としての責務を果たしてまいります。

基本戦略

- 1) 収益力の向上
- 2) 技術・開発力の強化
- 3) 働き方改革
- 4) 経営基盤の再構築

■ 新規事業の創出

- 顧客・現場ニーズ吸い上げ簡素化
- 部門間連携の強化
- 「開発営業部」の新設
- 研究開発投資の増額

■ 研究・技術開発

- 研究・技術開発テーマ
- 「熟練作業不足を補う」・「省人化&ICT」
 - 「環境」

■ 知的財産

- オープン・クローズ戦略による知財の循環

■ 業務の効率化

- 新基幹システム
- 社内インフラ整備
- 残業時間削減対策
- 戦略的採用の強化
- 健康経営の推進

■ 経営基盤の再構築

- 盤石な組織体系づくり
- 人材の確保・育成・活用
- 投資戦略(研究開発投資/M&A・アライアンス)

重点施策

■ 製品・技術情報

Topics



モルシェは水につけるだけでできるとっても簡単なモルタルです。計量いらずで混練もラクラクだから、レンガ積みなどが簡単に!



モルシェが簡単な4つの特長

- 水につけるだけ
- 計量いらず
- 混練ラクラク
- 手が汚れにくい

モルタルとは・・・
セメントに水と砂を加えて練ったものです。
ブロックやレンガを積むときの目地材や、建物の外壁や内壁の建築資材としてよく使われます。



モルシェについてもっと知りたい場合は、コチラをチェック!

以下のサイトからご購入いただけます!

Rakuten amazon モノタロウ

グレーとピンクグレーの2色展開です!



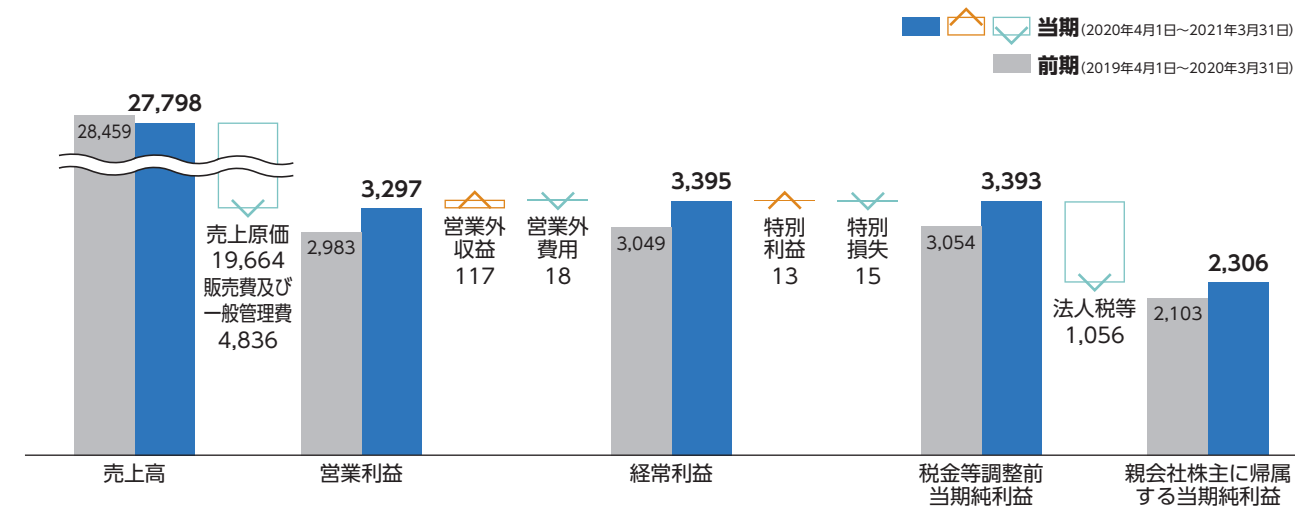
他、ホームセンターや東急ハンズなどでご購入いただけます。詳しくは当社のホームページをご確認ください。

YouTube	Instagram	ホームページ
使用方法をご紹介します!	@kfc_morsche	http://morsche.jp/

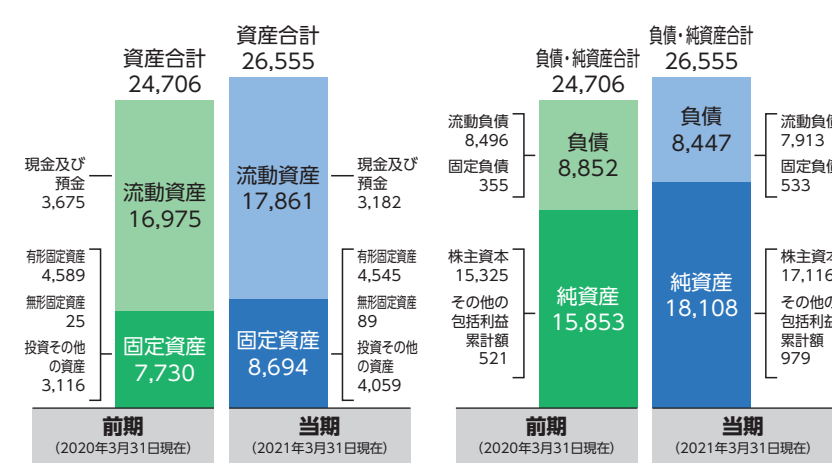
■ 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

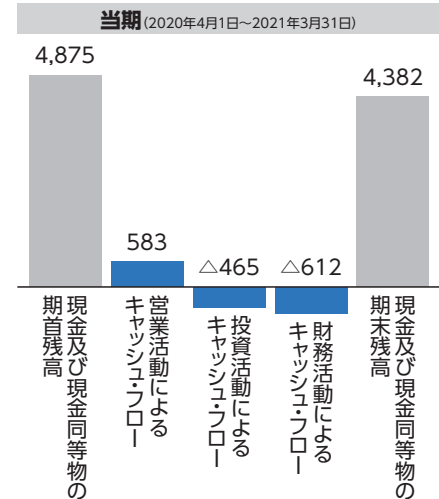
連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結貸借対照表 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



■ 株式の状況

Stock Information

(2021年3月31日現在)

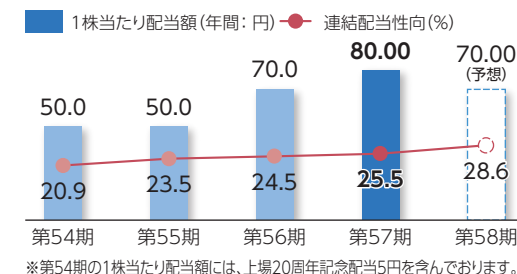
発行可能株式総数 18,970,000株
 発行済株式の総数 7,378,050株
 株主数 1,628名
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
高田信子	784,000	10.65
積水樹脂株式会社	777,000	10.56
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	400,100	5.43
高田俊太	396,300	5.38
ケー・エフ・シー取引先持株会	383,600	5.21
株式会社三菱UFJ銀行	325,000	4.41
デンカ株式会社	200,000	2.71
株式会社中外精工	174,700	2.37
エムエスティ保険サービス株式会社	150,000	2.03
生田明男	126,000	1.71

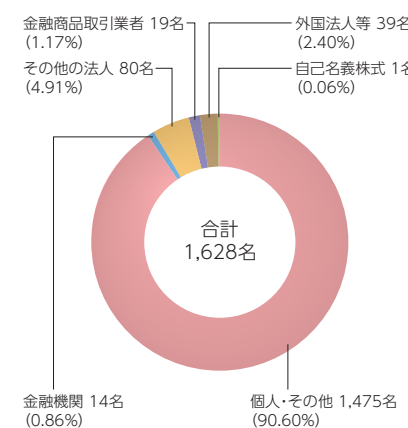
(注1) 持株比率は、自己株式(18,512株)を控除して算出しております。
 (注2) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社は、株式会社日本カストディ銀行に商号変更しております。

配当方針

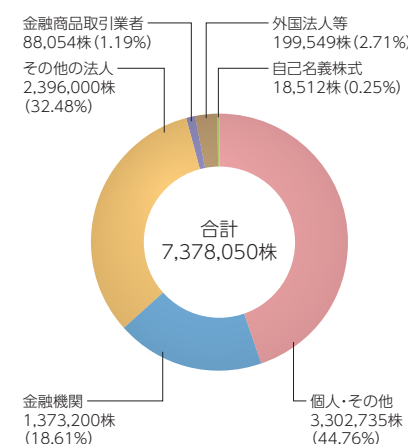
当社の配当政策は、安定的な利益還元を重視することを基本としておりますが、当該期の業績や今後の資金需要、財務状態も総合的に勘案し、株主各位のご期待にお応えしていきたいと考えております。また、内部留保金につきましては、有利子負債を削減し財務体質の強化を図るとともに、経営環境の変化に柔軟に対応するための設備投資や研究開発、新規事業の拡大などに有効活用してまいります。



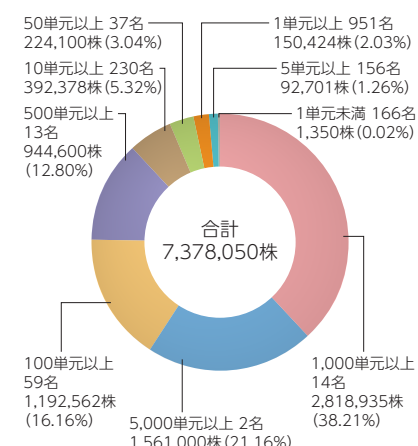
所有者別分布状況(株主数)



所有者別分布状況(株式数)



所有株数別株式分布状況

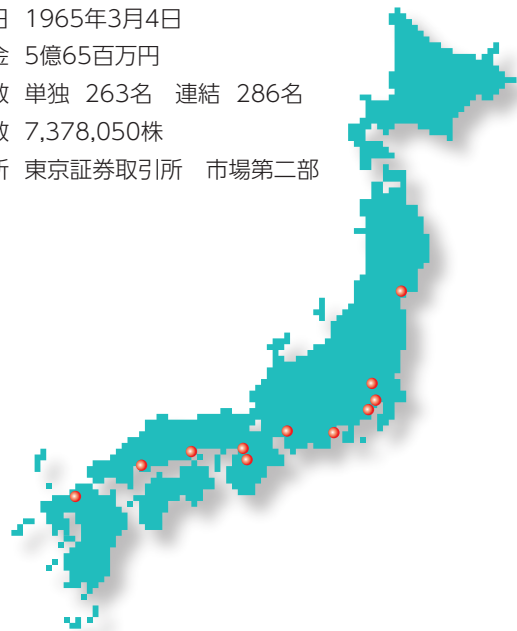


会社の概況

Corporate Profile

(2021年3月31日現在)

商号 株式会社 ケー・エフ・シー
 設立年月日 1965年3月4日
 資本金 5億65百万円
 従業員数 単独 263名 連結 286名
 発行済株式の総数 7,378,050株
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部



役員

(2021年6月18日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長(兼)執行役員社長	高田俊太
常務取締役(兼)常務執行役員	堀口康郎
常務取締役(兼)常務執行役員	羽馬徹
取締役(兼)執行役員	大平康史
取締役(兼)執行役員	石原淳
取締役(兼)執行役員	稲葉朗
取締役(兼)執行役員	石田裕宗
社外取締役	佐野裕
社外取締役	中桐万里子
常勤監査役	山口義弘
社外監査役	五島洋彦
社外監査役	渡部靖彦

執行役員

執行役員	村井良和
執行役員	千足裕一
執行役員	田村知幸

● 本店・本社

本店 〒530-0047
 大阪市北区西天満3丁目2番17号 TEL (06) 6363-4188

東京本社 〒105-0011
 東京都港区芝公園2丁目4番1号 TEL (03) 6402-8250
 芝パークビルB館11階

● 流通センター

大阪流通センター 〒584-0023
 大阪府富田林市若松町東3丁目4番2号 TEL (0721) 24-7511

関東流通センター 〒347-0010
 埼玉県加須市大桑1丁目19番地 TEL (0480) 76-0091

● 技術研究所

〒347-0010
 埼玉県加須市大桑1丁目19番地 TEL (0480) 76-0095
 〒584-0023
 大阪府富田林市若松町東3丁目4番2号 TEL (0721) 24-7511

● 営業所

東北営業所 〒981-3133
 仙台市泉区泉中央4丁目15番1号 TEL (022) 772-3981

横浜営業所 〒224-0061
 横浜市都筑区大丸8番4号 TEL (045) 949-5801
 都筑岩澤ビル

静岡営業所 〒422-8035
 静岡市駿河区宮竹2丁目14番10号 TEL (054) 238-6688

名古屋ファスナー部 〒461-0048
 名古屋市東区矢田南5丁目1番11号 TEL (052) 711-8088

岡山営業所 〒700-0975
 岡山市北区今7丁目7番13号 TEL (086) 243-5722

中国営業所 〒732-0811
 広島市南区段原4丁目5番2号 TEL (082) 568-4750

福岡営業所 〒812-0016
 福岡市博多区博多駅南6丁目16番10号 第一小笠原ビル TEL (092) 461-2735

● 連結子会社 (国内)

アールシーアイ株式会社
 大阪本店 〒530-0047
 大阪市北区西天満3丁目2番17号 TEL (06) 6363-4362

東京本社 〒105-0011
 東京都港区芝公園2丁目4番1号 TEL (03) 6402-7570
 芝パークビルB館11階

● 連結子会社 (海外)

唐山日翔建材科技有限公司
 本社工場 中華人民共和国河北省唐山市

Trust Safety Functionality



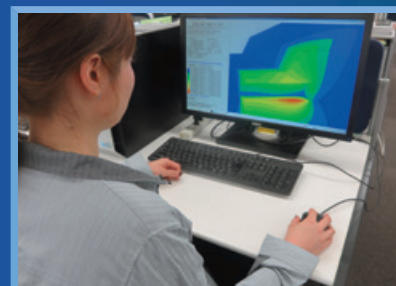
時代のニーズに先進技術で応え続けて半世紀 建設用アンカーのパイオニア

建築土木用アンカー製品からトンネル内装工事・サポートまで。

当社では埼玉県加須市に全事業部門を横断的に統一した技術部門である技術研究所を設けています。それぞれの事業部からフィードバックされる情報、アイデアなどをもとに、新たな製品、技術、工法を開発するとともに、既存技術の異業種、他分野への適応などについても研究しています。

現場からのフィードバックにより、さらに安全性と機能性を追求した新たな製品開発に取り組んでおります。

設計・技術開発



現場施工

